

第45回 番組審議会議事録

1. 開催日時 平成31年4月3日
2. 開催場所 よこてイースト 会議室
3. 委員出席 委員総数 5名
出席委員数 5名
欠席委員 0名

出席委員	岡部 えり子	委員
	佐々木 隆一	委員
	土田 百合子	委員
	菊地 清志	委員
	辻 正憲	委員

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 9名

奥山 和彦	代表取締役社長
高橋 雅博	支援室長
小笠原 豊	放送局長/番組審議会事務局
木匠 一公	支援室長補佐
高橋 一親	支援室
細川 正実	営業部/番組審議会事務局

(1) 4月課題審議 審議番組『使用上の注意』
(平成31年3月28日 日曜日 午前10時30分～ 放送分)

(2) その他

4. 審議事項

(1) ①審議番組『使用上の注意』について

【土田委員】

- ・家電製品を購入した時についてくる使用上の注意に書かれている内容を見るかと、自分にも問いかけたのですがほとんどみていなかった。そのことによってどう対応するのか、番組を聴きながらちゃんと読むのは大事だなと感じた。
- ・ドアホンの紹介などあって防犯の対策についての大切さを感じて、情報として非常にありがたく感じた。
- ・内容が深くなって行って、コンパクトデジカメ、スマホ、セキュリティの流れになったところで、耳で聴いて理解できるひとつどどのくらいいたのかなと。私たちの年代では難しいのでは。
- ・逆に内容をわかる若い世代の方は、この時間帯ラジオをきかないのではないかな。
- ・ラジオで放送して聴いて、理解できるということが大事なことだと思うので、中間と最後の横文字が多かった部分については聴いていてもほとんどわからなかったという感想を持った。

【菊地委員】

- ・番組ができたきっかけを知りたい。
- ・聴いていて、ちょっとついていけないなと思ったところもあった。
- ・素人の耳で聴いた場合に思ったのは、製品の使用する際に機能がわかりよりよく使用するという番組の趣旨であれば、リスナーから「こんな失敗があった」「これどう使えばいいのかな」とか聴く側と一体感がある番組であればずっと入ってくるのかなと思った。番組として続けていくために一体感が欲しいなと思った。
- ・製品の紹介を受け取れる内容が多かったのも、そこらへんの線引きが難しいんだろうなと思って聴いた。
- ・品番や数字・アルファベットが続いていくのはついていけないなというのが正直なところ。

【辻委員】

- ・まずは使用上の注意というタイトルを見て、「おや？なんだろうな？」と興味を引いた。使用上の注意をよく読んでお薬をお飲みくださいのような雰囲気が入ってくるのかなと思ったら、家電だったので、今流行りの家電芸人もいるしおもしろい視点だと思った。とっかかりのいい、食いつきのいいタイトルを付けたなあと眼から鱗だった。
- ・内容的にはお二人の委員からも出ましたがなかなか・・・というのはある。ただ、もしかしたらこれまでは世代の上のひとたちを狙っている番組に対して若い方を狙っているという特徴を出してきているんだなと考えるとこういう挑戦も必要だと思った。
- ・24分で3製品だったのですが、もうちょっと欲しい。1製品8分くらいだったのですが、4分くらいでもう少しあるとそのまま家電屋さんについてみちゃうじゃないかなと思った。テンポを増やせ

ばよくすればわかりにくいのがもう少し伝わると思う？

- ぜひ今度は、お薬やお料理とか、使用上の注意というキーワードでいろんな横手市の作っているものなど出てくるとおもしろくなりそう。切り口はおもしろい。
- リスナーには好き嫌いがあるけれど割り切って攻めて欲しい。オールマイティになるとつまらなくなる。

【佐々木委員長】

- いろいろオタク向けなどでみなさんと同じ感想。
- 一般向けではないけどそれもアリかと思う。
- バージョンやジャンルを変えてみるのもおもしろいと辻委員の話を聞いて思った。
- 序盤のスイッチ付きのコンセントを忘れて電源が入らなかったの話あたりは共感を持って聴いたけれど、セキュリティの話になったらダメだった。
- 最後の BGM が長すぎる。

《会社側からの回答》

【放送局長 小笠原豊】

・番組ができたきっかけですが、当初は番組ではなくコーナー的な企画だったので、弊社の技術のサポートをしてもらっている田口デンキの田口さん（田口ギブ）と、技術部藤田マサハルの二人が電器製品の話で盛り上がりできたもの。この商品いいですね～というものよりももっと深い、コアな人たち向け（同業者など）製品が好きなその方たち向けの番組。メッセージなどもそういうものが多い。

4. その他番組への意見

【辻委員】

- 駅東口特番がタイムリーに放送されたのがよかった。東口再開発に対して市民が「なにをしているかわからない」という声をいただくこともあり、市長の声や街の声を流してもらえてよかった。

【土田委員】

- 山下太郎のことを山下達郎と言ってしまったと聴いたが、名前だけは間違わないようになんとかお願いしたい。

5. 意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ（URL）への掲載

公表の案内 議事の概要

公表年月日 平成 31 年 4 月 15 日

6. 次回審議番組

「まんが美術館特番」

(5月1日(水)午後1時～ 放送予定)

7. 備考 5月、6月、7月は休会とし、次回は8月に開催予定。